



様式第二号の十四(第八条の十七の三関係)

(第1面)

特別管理産業廃棄物処理計画実施状況報告書

令和6年 6月 30 日

豊 田 市 長 殿

提出者

住 所 愛知県刈谷市一里山町金山100番地

氏 名 トヨタ車体株式会社

代表取締役 松尾 勝博

(法人にあっては、名称及び代表者の氏名)

電話番号 0566-36-8847

廃棄物の処理及び清掃に関する法律第12条第11項の規定に基づき、令和4年度の特別管理産業廃棄物処理計画の実施状況を報告します。

事 業 場 の 名 称	トヨタ車体株式会社 吉原工場
事 業 場 の 所 在 地	愛知県豊田市吉原町上藤池25番地
事 業 の 種 類	31:輸送用機械器具製造業
特別管理産業廃棄物処理計画 における計画期間	令和5年4月1日～令和6年3月31日

特別管理産業廃棄物処理計画における目標値

項目	目標値	項目	目標値
排 出 量	542 t	全 処 理 委 託 量	542 t
自ら再生利用を行う 特別管理産業廃棄物の量	0 t	優良認定処理業者への 処 理 委 託 量	542 t
自ら熱回収を行う 特別管理産業廃棄物の量	0 t	再生利用業者への 処 理 委 託 量	542 t
自ら中間処理により減量する 特別管理産業廃棄物の量	0 t	認定熱回収業者への 処 理 委 託 量	0.5 t
自ら埋立処分又は 海洋投入処分を行う 特別管理産業廃棄物の量	0 t	認定熱回収業者以外の 熱回収を行う業者への 処 理 委 託 量	0 t

電子情報処理組織の使用に関する事項

特別管理産業廃棄物排出量 (ポリ塩化ビフェニル廃棄物を除く。)	前々年度	341.8 t
	前 年 度	407.6 t

(電子情報処理組織の使用に関して実施した取組)

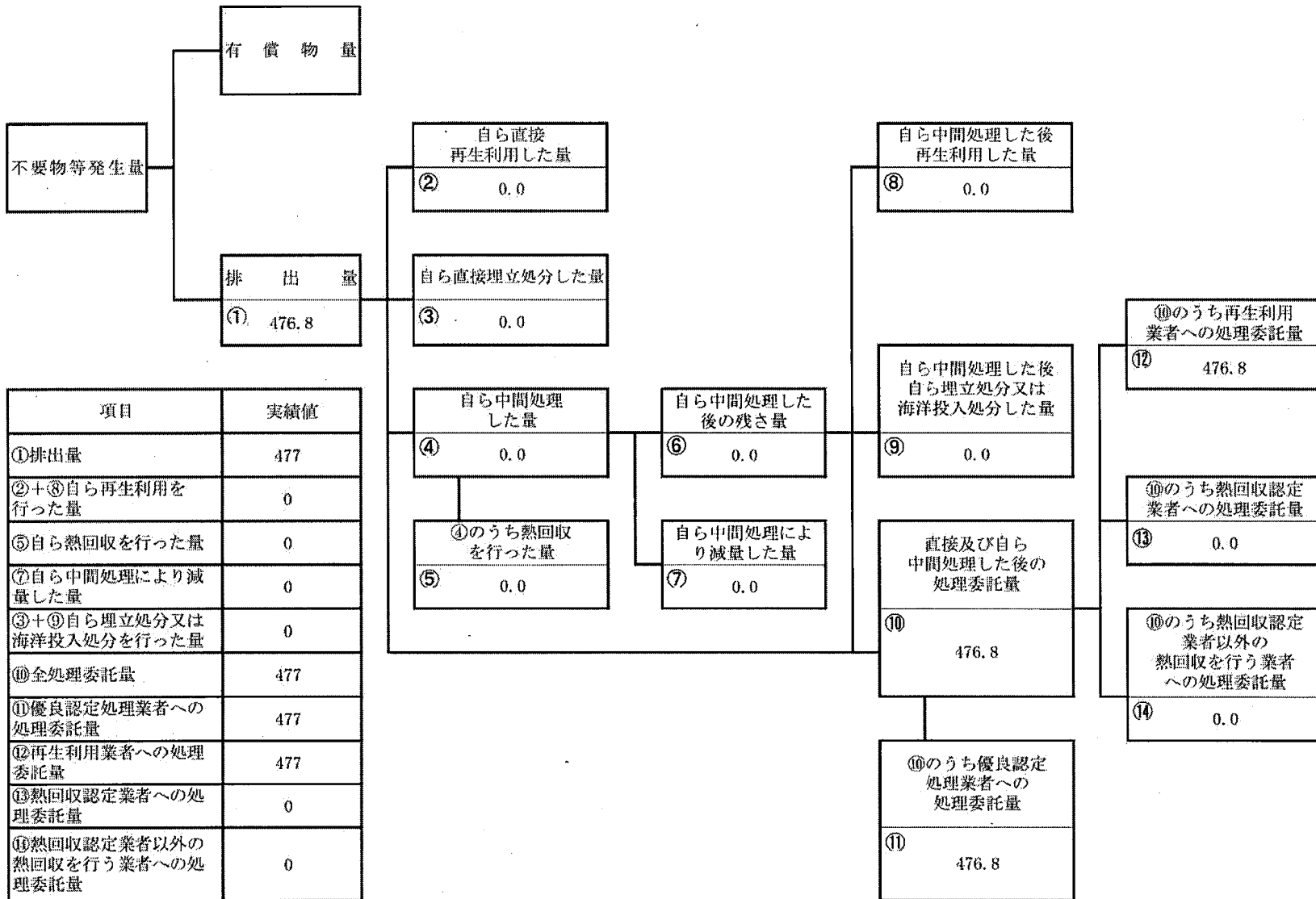
・電子マニフェスト加入済

※事務処理欄

(日本工業規格 A列4番)

計画の実施状況

(特別管理産業廃棄物の種類： 引火性廃油)



計画の実施状況

(特別管理産業廃棄物の種類： 腐食性廃酸)

不要物等発生量

排出量
① 0

④ 0.0

有償物量

② 0.0

③ 0.0

⑤ 0.0

項目	実績値
①排出量	0
②+③自ら再生利用を行った量	0
⑤自ら熱回収を行った量	0
⑦自ら中間処理により減量した量	0
③+④自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った量	0
⑩全処理委託量	0
⑪優良認定処理業者への処理委託量	0
⑫再生利用業者への処理委託量	0
⑬熱回収認定業者への処理委託量	0
⑭熱回収認定業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0

自ら直接再生利用した量
② 0.0

自ら直接埋立処分した量
③ 0.0

自ら中間処理した量
④ 0.0

④のうち熱回収を行った量
⑤ 0.0

自ら中間処理した後の残さ量
⑥ 0.0

自ら中間処理により減量した量
⑦ 0.0

自ら中間処理した後再生利用した量
⑧ 0.0

自ら中間処理した後自ら埋立処分又は海洋投入処分した量
⑨ 0.0

直接及び自ら中間処理した後の処理委託量
⑩ 0

⑩のうち優良認定処理業者への処理委託量
⑪ 0

⑩のうち再生利用業者への処理委託量
⑫ 0

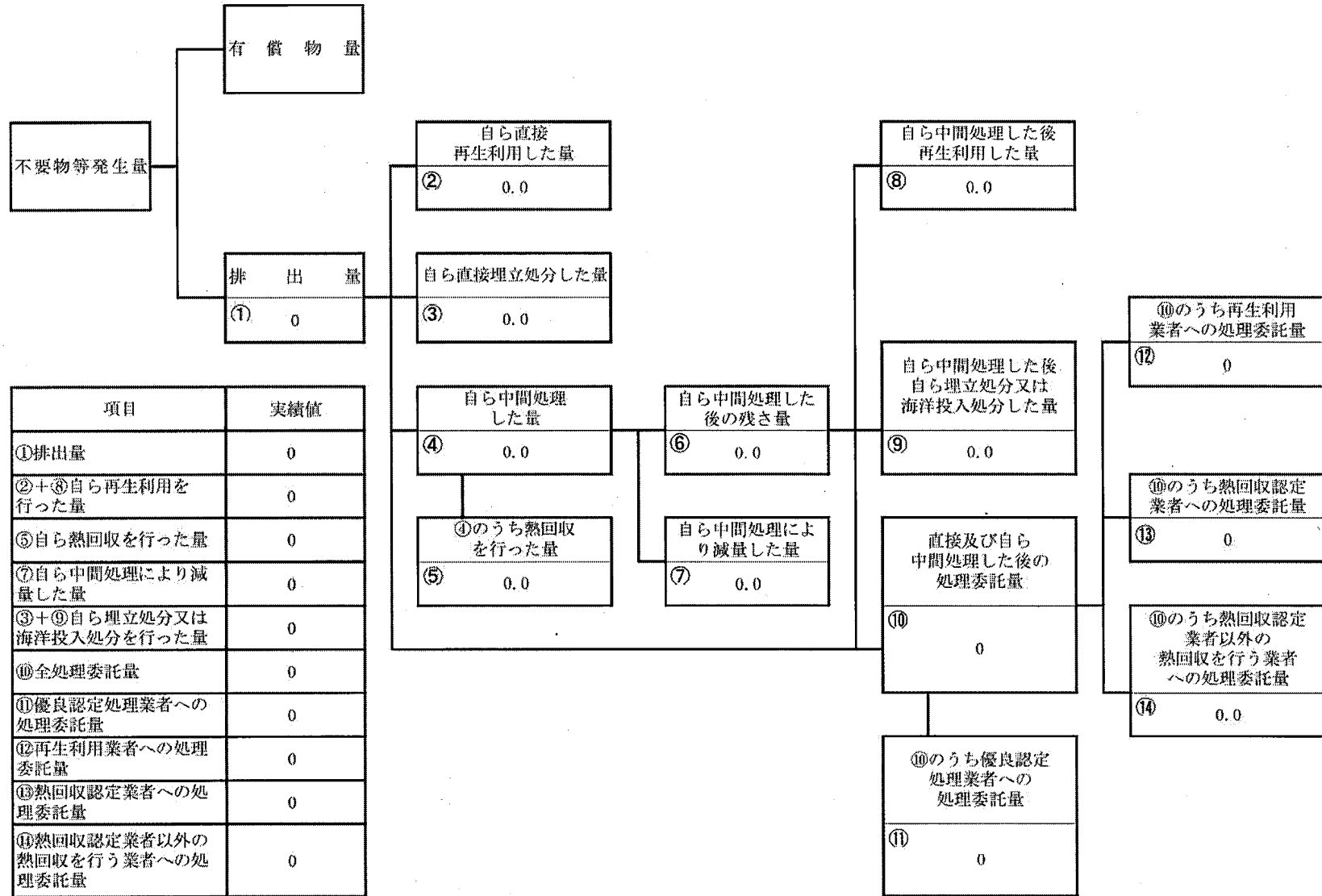
⑩のうち熱回収認定業者への処理委託量
⑬ 0.0

⑩のうち熱回収認定業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量
⑭ 0.0

(第2面)

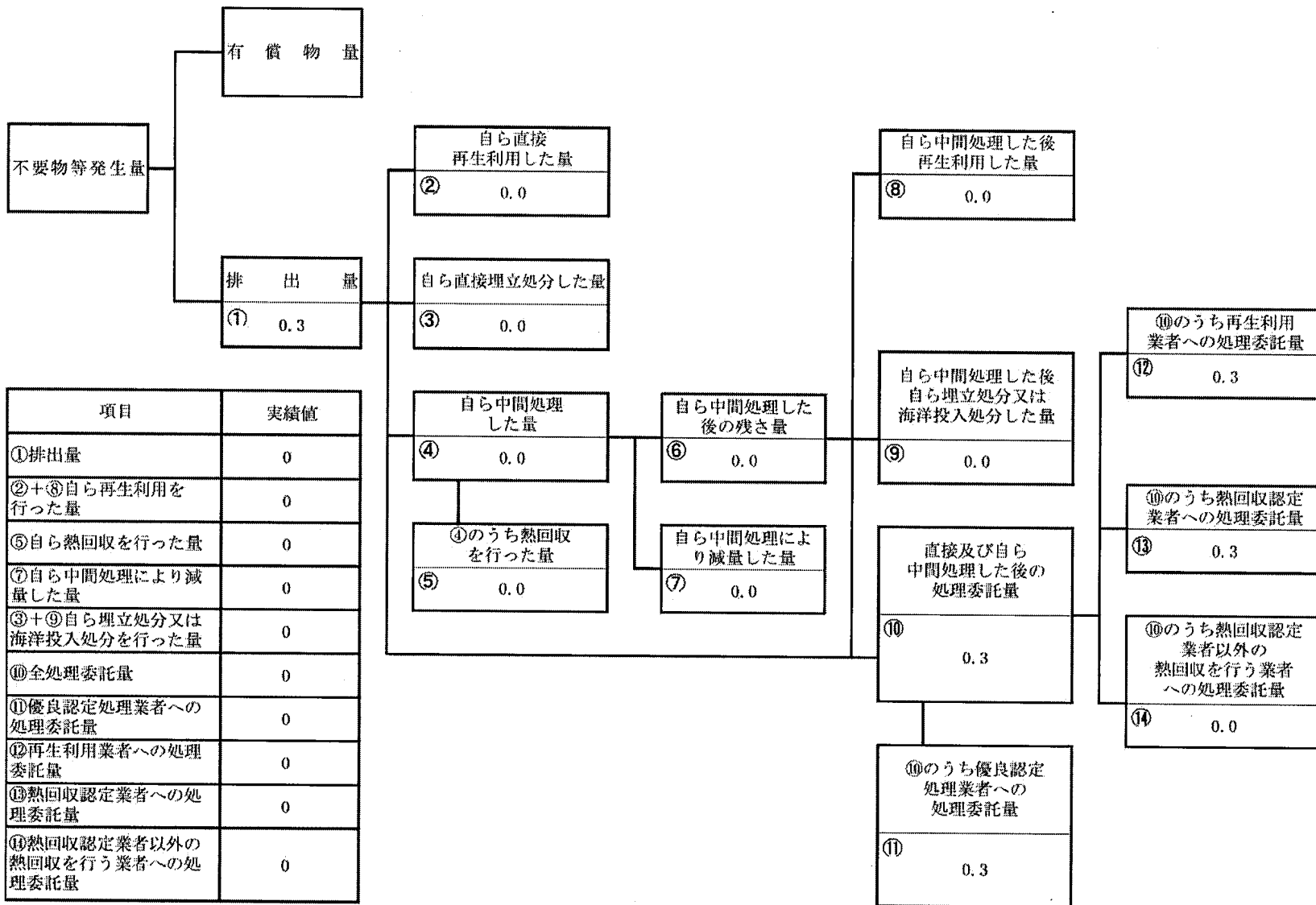
計画の実施状況

(特別管理産業廃棄物の種類： 腐食性廃アルカリ)



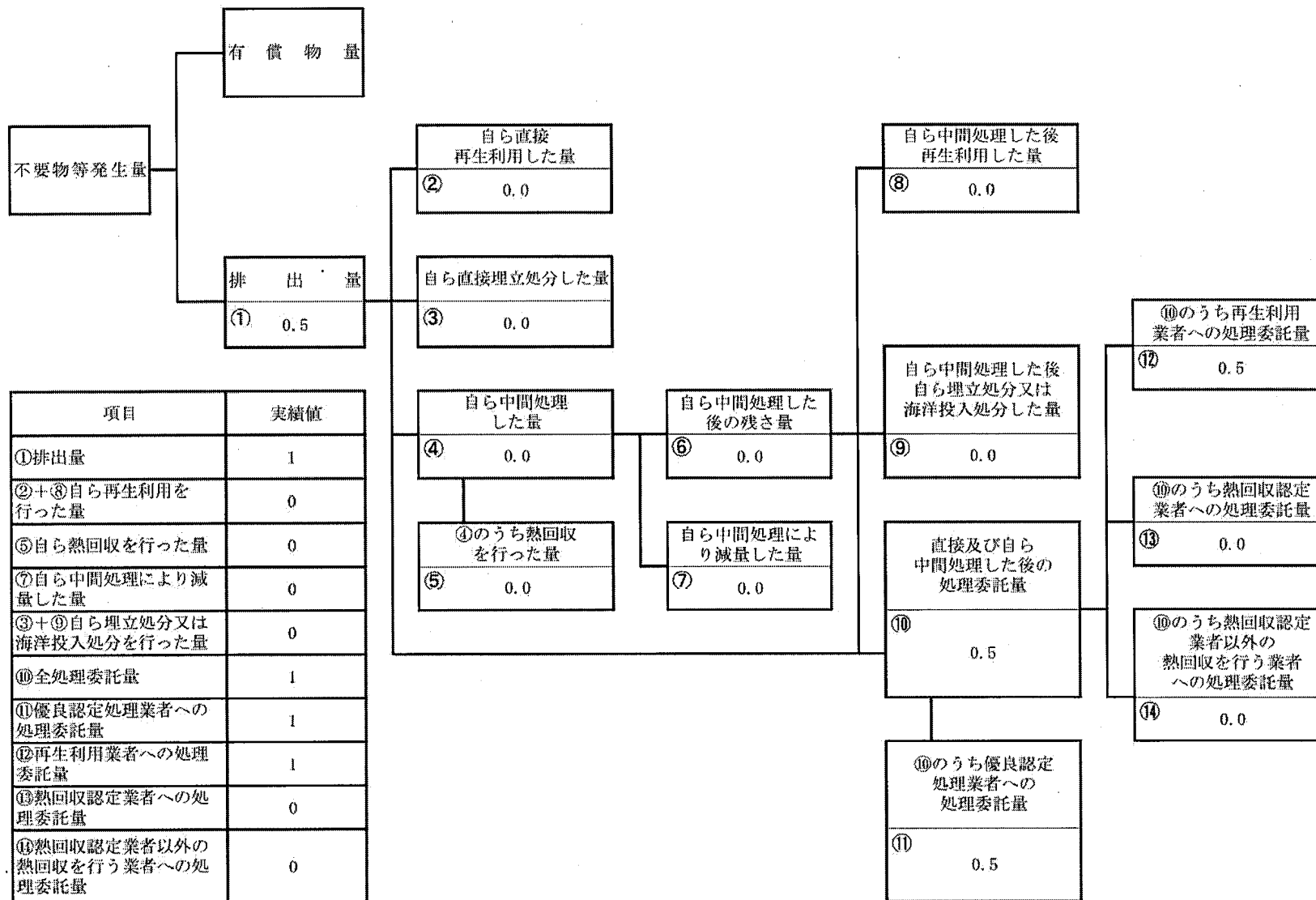
計画の実施状況

(特別管理産業廃棄物の種類： 感染性廃棄物)



計画の実施状況

(特別管理産業廃棄物の種類: PCB廃棄物)



計画の実施状況

(特別管理産業廃棄物の種類：)

不要物等発生量

有 償 物 量

排 出 量
①

自ら直接
再生利用した量
②

自ら直接埋立処分した量
③

自ら中間処理した量
④

④のうち熱回収を行った量
⑤

自ら中間処理した後
再生利用した量
⑧

自ら中間処理した後
自ら埋立処分又は
海洋投入処分した量
⑨

直接及び自ら
中間処理した後の
処理委託量
⑩

⑩のうち優良認定
処理業者への
処理委託量
⑪

⑩のうち再生利用
業者への処理委託量
⑫

⑩のうち熱回収認定
業者への処理委託量
⑬

⑩のうち熱回収認定
業者以外の
熱回収を行う業者
への処理委託量
⑭

項目	実績値
①排出量	0
②+⑧自ら再生利用を行った量	0
⑤自ら熱回収を行った量	0
⑦自ら中間処理により減量した量	0
③+⑨自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った量	0
⑩全処理委託量	0
⑪優良認定処理業者への処理委託量	0
⑫再生利用業者への処理委託量	0
⑬熱回収認定業者への処理委託量	0
⑭熱回収認定業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0

備考

- 1 翌年度の6月30日までに提出すること。
- 2 「事業の種類」の欄には、日本標準産業分類の区分を記入すること。
- 3 「特別管理産業廃棄物処理計画における目標値」の欄には、項目ごとに、特別管理産業廃棄物処理計画に記載した目標値を記入すること。
- 4 第2面には、前年度の特別管理産業廃棄物処理に関して、①～⑭の欄のそれぞれに、(1)から(14)に掲げる量を記入すること。
 - (1) ①欄 当該事業場において生じた特別管理産業廃棄物の量
 - (2) ②欄 (1)の量のうち、中間処理をせず直接自ら再生利用した量
 - (3) ③欄 (1)の量のうち、中間処理をせず直接自ら埋立処分又は海洋投入処分した量
 - (4) ④欄 (1)の量のうち、自ら中間処理をした特別管理産業廃棄物の当該中間処理前の量
 - (5) ⑤欄 (4)の量のうち、熱回収を行った量
 - (6) ⑥欄 自ら中間処理をした後の量
 - (7) ⑦欄 (4)の量から(6)の量を差し引いた量
 - (8) ⑧欄 (6)の量のうち、自ら利用し、又は他人に売却した量
 - (9) ⑨欄 (6)の量のうち、自ら埋立処分及び海洋投入処分した量
 - (10) ⑩欄 中間処理及び最終処分を委託した量
 - (11) ⑪欄 (10)の量のうち、優良認定処理業者(廃棄物の処理及び清掃に関する法律施行令第6条の11第2号に該当する者)への処理委託量
 - (12) ⑫欄 (10)の量のうち、処理業者への再生利用委託量
 - (13) ⑬欄 (10)の量のうち、認定熱回収施設設置者(廃棄物の処理及び清掃に関する法律第15条の3の3第1項の認定を受けた者)である処理業者への焼却処理委託量
 - (14) ⑭欄 (10)の量のうち、認定熱回収施設設置者以外の熱回収を行っている処理業者への焼却処理委託量
- 5 第2面の左下の表には、項目ごとに、特別管理産業廃棄物処理計画に記載したそれぞれの実績値を記入すること。
- 6 特別管理産業廃棄物の種類が2以上あるときは、特別管理産業廃棄物の種類ごとに、第2面の例により特別管理産業廃棄物処理計画の実施状況を明らかにした書面を作成し、当該書面を添付すること。
- 7 「電子情報処理組織の使用に関する事項」の欄には、前々年度及び前年度における特別管理産業廃棄物の排出量(ポリ塩化ビフェニル廃棄物(令第2条の4第5号イからハまでに掲げるものをいう。)を除く。)並びに電子情報処理組織使用義務者にあつては前年度に実施した電子情報処理組織の使用に関する取組(情報処理センターへの登録が困難な場合として廃棄物の処理及び清掃に関する法律施行規則第8条の31の4に該当したときは、その旨及び理由を含む。)について記入すること。
- 8 ※欄には、何も記入しないこと。

産業廃棄物処理状況調査票

(No. 1/5)

1 事業場の概要

項目	内容	項目	内容	備考
事業場の名称	トヨタ車体株式会社 吉原工場	従業員数 (人)	2,665人	前年度の3月31日現在の従業員数 (パート等の臨時職員及び役員等を含む) を記入して下さい。
記入者名	プラント環境生技部 環境推進室 室長 山田和宏	当該事業所の元請完成工事高 (万円/年)		建設業の場合記入。 愛知県内 (政令市を除く。) で行われた工事の年間の元請完成工事高 (出来高工事を含む) を記入して下さい。
連絡先	(電 話) 0566-36-8847 (FAX) 0566-36-6190 (E-mail)	当該事業所の製造品出荷額 (万円/年)	23,440億円 (全社売上高)	製造業の場合記入。 前年度の4月1日から3月31日までの1年間の額を記入して下さい。

2 実施状況

項目	産業廃棄物の種類 (名称)	汚泥	汚泥	汚泥	廃油	廃油
		排水処理スラッジ	表面処理スラッジ	乾燥汚泥	廃油 (車輛抜取)	パラフィン
前 年 度 計 画 の 実 施 状 況 (28 年 度 実 績)	a 不要物等発生量 (t/年)	9.5	6.8	6,870.5	53.2	0.0
	b 有償物量 (t/年)	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	① 排出量 (t/年) (①=a-b)	9.5	6.8	6,870.5	53.2	0.0
	② 自ら直接再生利用した量 (t/年)	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	再生利用用途	A・B・C・D E ()	A・B・C・D E ()	A・B・C・D E ()	A・B・C・D E ()	A・B・C・D E ()
	③ 自ら直接埋立処分又は海洋投入処分した量 (t/年)	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	埋立処分先	A 県内・B 県外	A 県内・B 県外	A 県内・B 県外	A 県内・B 県外	A 県内・B 県外
	④ 自ら中間処理した量 (t/年)	0.0	0.0	6,870.5	0.0	0.0
	処理方法	A・B・C・D E ()	A・B・C・D E ()	A・B・C・D E ()	A・B・C・D E ()	A・B・C・D E ()
	⑦ 自ら中間処理により減量した量 (t/年) (⑦=④-⑥)	0.0	0.0	6,245.9	0.0	0.0
	⑥ 自ら中間処理した後の残さ量 (t/年)	0.0	0.0	624.6	0.0	0.0
	⑧ 自ら中間処理した後再生利用した量 (t/年)	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	再生利用用途	A・B・C・D E ()	A・B・C・D E ()	A・B・C・D E ()	A・B・C・D E ()	A・B・C・D E ()
	⑨ 自ら中間処理した後自ら埋立処分又は海洋投入処分した量 (t/年)	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	埋立処分先	A 県内・B 県外	A 県内・B 県外	A 県内・B 県外	A 県内・B 県外	A 県内・B 県外
	c 自ら中間処理した後の処理委託量 (t/年) (c=⑥-⑧-⑨)	0.0	0.0	624.6	0.0	0.0
	d 直接処理委託量 (t/年) (d=①-②-③-④)	9.5	6.8	0.0	53.2	0.0
	⑩ 直接及び自ら中間処理した後の処理委託量 (t/年) (⑩=c+d)	9.5	6.8	624.6	53.220	0.0
	e 埋立処分又は海洋投入処分の処理委託量 (t/年)	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	埋立処分先	A 県内・B 県外	A 県内・B 県外	A 県内・B 県外	A 県内・B 県外	A 県内・B 県外
	f 委託中間処理量 (t/年)	9.5	6.8	624.6	53.2	0.0
	処理方法	A・B・C・D E ()	A・B・C・D E ()	A・B・C・D E ()	A・B・C・D E ()	A・B・C・D E ()
	g 委託中間処理により減量した量 (t/年)	9.0	6.1	528.4	47.4	0.0
	h 委託中間処理した後再生利用した量 (t/年)	0.5	0.8	96.2	5.9	0.0
	再生利用用途	A・B・C・D E ()	A・B・C・D E ()	A・B・C・D E ()	A・B・C・D E ()	A・B・C・D E ()
	i 委託中間処理した後埋立処分又は海洋投入処分した量 (t/年)	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	埋立処分先	A 県内・B 県外	A 県内・B 県外	A 県内・B 県外	A 県内・B 県外	A 県内・B 県外
	j 再生利用量 (t/年) (j=②+⑧+h)	0.5	0.8	96.2	5.9	0.0
	k 中間処理による減量 (t/年) (k=⑦+g)	9.0	6.1	6,774.3	47.4	0.0
	l 最終処分量 (t/年) (l=③+⑨+e+i)	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0

(注) 1 産業廃棄物発生・処理フロー図を参考に記載してください。

2 再生利用用途コード A: 原料・材料 B: 燃料 C: 飼料・肥料 D: 建設材料 E: その他 (具体的に記載)

3 処理方法コード A: 焼却・溶融 B: 脱水・乾燥 C: 破碎・圧縮 D: 中和 E: その他 (具体的に記載)

4 記入欄が不足する場合は、シートをコピーしてお使いください。なお、この場合、右上No. 欄にページを記載してください。

5 ①~④、⑥~⑩は様式第二号の九又は様式第二号の一四の第二面と同じ項目です。

産業廃棄物処理状況調査票

(No. 2/5)

1 事業場の概要

項目	内容	項目	内容	備考
事業場の名称	トヨタ車体株式会社 吉原工場	従業員数 (人)	2,665人	前年度の3月31日現在の従業員数 (パート等の臨時職員及び役員等を含む) を記入して下さい。
記入者名	プラント環境生技部 環境推進室 室長 山田和宏	当該事業所の元請完成工事高 (万円/年)		建設業の場合記入。 愛知県内 (政令市を除く。) で行われた工事の年間の元請完成工事高 (出来高工事を含む) を記入して下さい。
連絡先	(電 話) 0566-36-8847 (FAX) 0566-36-6190 (E-mail)	当該事業所の製造品出荷額 (万円/年)	23,440億円 (全社売上高)	製造業の場合記入。 前年度の4月1日から3月31日までの1年間の額を記入して下さい。

2 実施状況

項目	産業廃棄物の種類 (名称)	廃油	廃プラスチック類	廃プラスチック類	廃プラスチック類	廃プラスチック類
		清掃廃油	廃プラスチック類 廃プラスチック類	廃プラスチック類 廃プラスチック類	廃プラスチック類 廃プラスチック類	廃プラスチック類 塗料カス
前 年 度 計 画 の 実 施 状 況 (28 年 度 実 績)	a 不要物等発生量 (t/年)	10.2	49.43	9.95	246.45	237.40
	b 有償物量 (t/年)	0.0	0.00	0.00	0.00	0.00
	① 排出量 (t/年) (①=a-b)	10.2	49.43	9.95	246.45	237.40
	② 自ら直接再生利用した量 (t/年)	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	再生利用用途	A・B・C・D E ()	A・B・C・D E ()	A・B・C・D E ()	A・B・C・D E ()	A・B・C・D E ()
	③ 自ら直接埋立処分又は海洋投入処分した量 (t/年)	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	埋立処分先	A 県内・B 県外	A 県内・B 県外	A 県内・B 県外	A 県内・B 県外	A 県内・B 県外
	④ 自ら中間処理した量 (t/年)	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	処理方法	A・B・C・D E ()	A・B・C・D E ()	A・B・C・D E ()	A・B・C・D E ()	A・B・C・D E ()
	⑦ 自ら中間処理により減量した量 (t/年) (⑦=④-⑥)	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	⑥ 自ら中間処理した後の残さ量 (t/年)	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	⑧ 自ら中間処理した後再生利用した量 (t/年)	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	再生利用用途	A・B・C・D E ()	A・B・C・D E ()	A・B・C・D E ()	A・B・C・D E ()	A・B・C・D E ()
	⑨ 自ら中間処理した後自ら埋立処分又は海洋投入処分した量 (t/年)	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	埋立処分先	A 県内・B 県外	A 県内・B 県外	A 県内・B 県外	A 県内・B 県外	A 県内・B 県外
	c 自ら中間処理した後の処理委託量 (t/年) (c=⑥-⑧-⑨)	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	d 直接処理委託量 (t/年) (d=①-②-③-④)	10.2	49.4	10.0	246.5	237.4
	⑩ 直接及び自ら中間処理した後の処理委託量 (t/年) (⑩=c+d)	10.23	49.4	10.0	246.5	237.4
	e 埋立処分又は海洋投入処分の処理委託量 (t/年)	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	埋立処分先	A 県内・B 県外	A 県内・B 県外	A 県内・B 県外	A 県内・B 県外	A 県内・B 県外
	f 委託中間処理量 (t/年)	10.2	49.4	10.0	246.5	237.4
	処理方法	A・B・C・D E (油水分離)	A・B・C・D E ()	A・B・C・D E ()	A・B・C・D E ()	A・B・C・D E ()
	g 委託中間処理により減量した量 (t/年)	0.0	42.5	9.5	224.3	201.8
	h 委託中間処理した後再生利用した量 (t/年)	10.2	6.9	0.5	22.2	35.6
	再生利用用途	A・B・C・D E ()	A・B・C・D E ()	A・B・C・D E ()	A・B・C・D E ()	A・B・C・D E ()
	i 委託中間処理した後埋立処分又は海洋投入処分した量 (t/年)	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	埋立処分先	A 県内・B 県外	A 県内・B 県外	A 県内・B 県外	A 県内・B 県外	A 県内・B 県外
	j 再生利用量 (t/年) (j=②+⑧+h)	10.2	6.9	0.5	22.2	35.6
	k 中間処理による減量 (t/年) (k=⑦+g)	0.0	42.5	9.5	224.3	201.8
	l 最終処分量 (t/年) (l=③+⑨+e+i)	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0

(注) 1 産業廃棄物発生・処理フロー図を参考に記載してください。

2 再生利用用途コード A: 原料・材料 B: 燃料 C: 飼料・肥料 D: 建設材料 E: その他 (具体的に記載)

3 処理方法コード A: 焼却・溶融 B: 脱水・乾燥 C: 破碎・圧縮 D: 中和 E: その他 (具体的に記載)

4 記入欄が不足する場合は、シートをコピーしてお使いください。なお、この場合、右上No. 欄にページを記載してください。

5 ①~④、⑥~⑩は様式第二号の九又は様式第二号の一四の第2面と同じ項目です。

産業廃棄物処理状況調査票

(No. 3/5)

1 事業場の概要

項目	内容	項目	内容	備考
事業場の名称	トヨタ車体株式会社 吉原工場	従業員数 (人)	2,665人	前年度の3月31日現在の従業員数 (パート等の臨時職員及び役員等を含む) を記入して下さい。
記入者名	プラント環境生技部 環境推進室 室長 山田和宏	当該事業所の元請完成工事高 (万円/年)		建設業の場合記入。 愛知県内 (政令市を除く。) で行われた工事の年間の元請完成工事高 (出来高工事を含む) を記入して下さい。
連絡先	(電 話) 0566-36-8847 (FAX) 0566-36-6190 (E-mail)	当該事業所の製造品出荷額 (万円/年)	23,440億円 (全社売上高)	製造業の場合記入。 前年度の4月1日から3月31日までの1年間の額を記入して下さい。

2 実施状況

項目	産業廃棄物の種類 (名称)	廃プラスチック類	廃プラスチック類	廃アルカリ	ガラスくず・コンクリートくず 及び陶磁器くず	ガラスくず・コンクリートくず 及び陶磁器くず
		塗料カス (泥状)	廃ウレタン	廃アルカリ等	蛍光灯 (水銀使用製品含む)	ガラスくず他
前年度計画の実施状況 (28年度実績)	a 不要物等発生量 (t/年)	583.2	85.6	0.2	0.6	5.4
	b 有償物量 (t/年)	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	① 排出量 (t/年) (①=a-b)	583.2	85.6	0.2	0.6	5.4
	② 自ら直接再生利用した量 (t/年)	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	再生利用用途	A・B・C・D E ()	A・B・C・D E ()	A・B・C・D E ()	A・B・C・D E ()	A・B・C・D E ()
	③ 自ら直接埋立処分又は海洋投入処分した量 (t/年)	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	埋立処分先	A 県内・B 県外	A 県内・B 県外	A 県内・B 県外	A 県内・B 県外	A 県内・B 県外
	④ 自ら中間処理した量 (t/年)	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	処理方法	A・B・C・D E ()	A・B・C・D E ()	A・B・C・D E ()	A・B・C・D E ()	A・B・C・D E ()
	⑦ 自ら中間処理により減量した量 (t/年) (⑦=④-⑥)	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	⑥ 自ら中間処理した後の残さ量 (t/年)	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	⑧ 自ら中間処理した後再生利用した量 (t/年)	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	再生利用用途	A・B・C・D E ()	A・B・C・D E ()	A・B・C・D E ()	A・B・C・D E ()	A・B・C・D E ()
	⑨ 自ら中間処理した後自ら埋立処分又は海洋投入処分した量 (t/年)	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	埋立処分先	A 県内・B 県外	A 県内・B 県外	A 県内・B 県外	A 県内・B 県外	A 県内・B 県外
	c 自ら中間処理した後の処理委託量 (t/年) (c=⑥-⑧-⑨)	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	d 直接処理委託量 (t/年) (d=①-②-③-④)	583.2	85.6	0.2	0.6	5.4
	⑩ 直接及び自ら中間処理した後の処理委託量 (t/年) (⑩=c+d)	583.2	85.6	0.2	0.6	5.4
	e 埋立処分又は海洋投入処分の処理委託量 (t/年)	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	埋立処分先	A 県内・B 県外	A 県内・B 県外	A 県内・B 県外	A 県内・B 県外	A 県内・B 県外
	f 委託中間処理量 (t/年)	583.2	85.6	0.2	0.6	5.4
	処理方法	A・B・C・D E (混練)	A・B・C・D E ()	A・B・C・D E ()	A・B・C・D E ()	A・B・C・D E ()
	g 委託中間処理により減量した量 (t/年)	0.0	73.6	0.1	0.0	4.5
	h 委託中間処理した後再生利用した量 (t/年)	583.2	12.0	0.0	0.5	0.8
	再生利用用途	A・B・C・D E ()	A・B・C・D E ()	A・B・C・D E ()	A・B・C・D E ()	A・B・C・D E ()
	i 委託中間処理した後埋立処分又は海洋投入処分した量 (t/年)	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	埋立処分先	A 県内・B 県外	A 県内・B 県外	A 県内・B 県外	A 県内・B 県外	A 県内・B 県外
	j 再生利用量 (t/年) (j=②+⑧+h)	583.2	12.0	0.0	0.5	0.8
	k 中間処理による減量 (t/年) (k=⑦+g)	0.0	73.6	0.1	0.0	4.5
	l 最終処分量 (t/年) (l=③+⑨+e+i)	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0

(注) 1 産業廃棄物発生・処理フロー図を参考に記載してください。

2 再生利用用途コード A:原料・材料 B:燃料 C:飼料・肥料 D:建設材料 E:その他 (具体的に記載)

3 処理方法コード A:焼却・溶融 B:脱水・乾燥 C:破碎・圧縮 D:中和 E:その他 (具体的に記載)

4 記入欄が不足する場合は、シートをコピーしてお使いください。なお、この場合、右上No. 欄にページを記載してください。

5 ①~④、⑥~⑩は様式第二号の九又は様式第二号の一四の第2面と同じ項目です。

産業廃棄物処理状況調査票

(No. 4/5)

1 事業場の概要

項目	内容	項目	内容	備考
事業場の名称	トヨタ車体株式会社 吉原工場	従業員数 (人)	2,665人	前年度の3月31日現在の従業員数 (パート等の臨時職員及び役員等を含む) を記入して下さい。
記入者名	プラント環境生技部 環境推進室 室長 山田和宏	当該事業所の元請完成工事高 (万円/年)		建設業の場合記入。 愛知県内 (政令市を除く。) で行われた工事の年間の元請完成工事高 (出来高工事を含む) を記入して下さい。
連絡先	(電 話) 0566-36-8847 (FAX) 0566-36-6190 (E-mail)	当該事業所の製造品出荷額 (万円/年)	23,440億円 (全社売上高)	製造業の場合記入。 前年度の4月1日から3月31日までの1年間の額を記入して下さい。

2 実施状況

項目	産業廃棄物の種類 (名称)	木くず	金属くず	金属くず	汚泥	廃酸
		木くず	乾電池 (水銀使用 製品含む)	金属複合材	ピット・槽汚泥	化成液等
前 年 度 計 画 の 実 施 状 況 (28 年 度 実 績)	a 不要物等発生量 (t/年)	4.6	0.2	13.7	102.7	202.3
	b 有償物量 (t/年)	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	① 排出量 (t/年) (①=a-b)	4.6	0.2	13.7	102.7	202.3
	② 自ら直接再生利用した量 (t/年)	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	再生利用用途	A・B・C・D E ()	A・B・C・D E ()	A・B・C・D E ()	A・B・C・D E ()	A・B・C・D E ()
	③ 自ら直接埋立処分又は海洋投入処分した量 (t/年)	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	埋立処分先	A 県内・B 県外	A 県内・B 県外	A 県内・B 県外	A 県内・B 県外	A 県内・B 県外
	④ 自ら中間処理した量 (t/年)	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	処理方法	A・B・C・D E ()	A・B・C・D E ()	A・B・C・D E ()	A・B・C・D E ()	A・B・C・D E ()
	⑦ 自ら中間処理により減量した量 (t/年) (⑦=④-⑥)	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	⑥ 自ら中間処理した後の残さ量 (t/年)	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	⑧ 自ら中間処理した後 再生利用した量 (t/年)	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	再生利用用途	A・B・C・D E ()	A・B・C・D E ()	A・B・C・D E ()	A・B・C・D E ()	A・B・C・D E ()
	⑨ 自ら中間処理した後自ら埋立処分 又は海洋投入処分した量 (t/年)	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	埋立処分先	A 県内・B 県外	A 県内・B 県外	A 県内・B 県外	A 県内・B 県外	A 県内・B 県外
	c 自ら中間処理した後の処理委託量 (t/年) (c=⑥-⑧-⑨)	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	d 直接処理委託量 (t/年) (d=①-②-③-④)	4.6	0.2	13.7	102.7	202.3
	⑩ 直接及び自ら中間処理した後の処理委託量 (t/年) (⑩=c+d)	4.6	0.2	13.7	102.7	202.3
	e 埋立処分又は海洋投入処分の処理委託量 (t/年)	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	埋立処分先	A 県内・B 県外	A 県内・B 県外	A 県内・B 県外	A 県内・B 県外	A 県内・B 県外
	f 委託中間処理量 (t/年)	4.6	0.2	13.7	102.7	202.3
	処理方法	A・B・C・D E ()	A・B・C・D E ()	A・B・C・D E ()	A・B・C・D E ()	A・B・C・D E ()
	g 委託中間処理により減量した量 (t/年)	0.0	0.0	4.5	86.9	182.07
	h 委託中間処理した後再生利用した量 (t/年)	4.6	0.2	9.1	15.8	20.23
	再生利用用途	A・B・C・D E ()	A・B・C・D E ()	A・B・C・D E ()	A・B・C・D E ()	A・B・C・D E ()
	i 委託中間処理した後埋立処分又は海 洋投入処分した量 (t/年)	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	埋立処分先	A 県内・B 県外	A 県内・B 県外	A 県内・B 県外	A 県内・B 県外	A 県内・B 県外
	j 再生利用量 (t/年) (j=②+⑧+h)	4.6	0.2	9.1	15.8	20.2
	k 中間処理による減量 (t/年) (k=⑦+g)	0.0	0.0	4.5	86.9	182.1
	l 最終処分量 (t/年) (l=③+⑨+e+i)	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0

(注) 1 産業廃棄物発生・処理フロー図を参考に記載してください。

2 再生利用用途コード A: 原料・材料 B: 燃料 C: 飼料・肥料 D: 建設材料 E: その他 (具体的に記載)

3 処理方法コード A: 焼却・溶融 B: 脱水・乾燥 C: 破碎・圧縮 D: 中和 E: その他 (具体的に記載)

4 記入欄が不足する場合は、シートをコピーしてお使いください。なお、この場合、右上No. 欄にページを記載してください。

5 ①~④、⑥~⑩は様式第二号の九又は様式第二号の一四の第2面と同じ項目です。

産業廃棄物処理状況調査票

(No. 5/5)

1 事業場の概要

項目	内容	項目	内容	備考
事業場の名称	トヨタ車体株式会社 吉原工場	従業員数 (人)	2,665人	前年度の3月31日現在の従業員数 (パート等の臨時職員及び役員等を含む) を記入して下さい。
記入者名	プラント環境生技部 環境推進室 室長 山田和宏	当該事業所の元請完成工事高 (万円/年)		建設業の場合記入。 愛知県内 (政令市を除く。) で行われた工事の年間の元請完成工事高 (出来高工事を含む) を記入して下さい。
連絡先	(電 話) 0566-36-8847 (FAX) 0566-36-6190 (E-mail)	当該事業所の製造品出荷額 (万円/年)	23,440億円 (全社売上高)	製造業の場合記入。 前年度の4月1日から3月31日までの1年間の額を記入して下さい。

2 実施状況

項目	産業廃棄物の種類 (名称)	廃酸	汚泥	廃油	廃プラスチック類
		廃酸等	ろ過砂	ED塗料等	廃EPパッキン
前 年 度 計 画 の 実 施 状 況 (28 年 度 実 績)	a 不要物等発生量 (t/年)	0.0	0.0	0.0	0.2
	b 有償物量 (t/年)	0.0	0.0	0.0	0.0
	① 排出量 (t/年) (①=a-b)				0.2
	② 自ら直接再生利用した量 (t/年)	0.0	0.0	0.0	0.0
	再生利用用途	A・B・C・D E ()	A・B・C・D E ()	A・B・C・D E ()	A・B・C・D E ()
	③ 自ら直接埋立処分又は海洋投入処分した量 (t/年)	0.0	0.0	0.0	0.0
	埋立処分先	A 県内・B 県外	A 県内・B 県外	A 県内・B 県外	A 県内・B 県外
	④ 自ら中間処理した量 (t/年)	0.0	0.0	0.0	0.0
	処理方法	A・B・C・D E ()	A・B・C・D E ()	A・B・C・D E ()	A・B・C・D E ()
	⑦ 自ら中間処理により減量した量 (t/年) (⑦=④-⑥)				0.0
	⑥ 自ら中間処理した後の残さ量 (t/年)	0.0	0.0	0.0	0.0
	⑧ 自ら中間処理した後再生利用した量 (t/年)	0.0	0.0	0.0	0.0
	再生利用用途	A・B・C・D E ()	A・B・C・D E ()	A・B・C・D E ()	A・B・C・D E ()
	⑨ 自ら中間処理した後自ら埋立処分又は海洋投入処分した量 (t/年)	0.0	0.0	0.0	0.0
	埋立処分先	A 県内・B 県外	A 県内・B 県外	A 県内・B 県外	A 県内・B 県外
	c 自ら中間処理した後の処理委託量 (t/年) (c=⑥-⑧-⑨)				0.0
	d 直接処理委託量 (t/年) (d=①-②-③-④)				0.2
	⑩ 直接及び自ら中間処理した後の処理委託量 (t/年) (⑩=c+d)				0.2
	e 埋立処分又は海洋投入処分の処理委託量 (t/年)	0.0	0.0	0.0	0.0
	埋立処分先	A 県内・B 県外	A 県内・B 県外	A 県内・B 県外	A 県内・B 県外
	f 委託中間処理量 (t/年)	0.0	0.0	0.0	0.2
	処理方法	A・B・C・D E ()	A・B・C・D E ()	A・B・C・D E (油水分離)	A・B・C・D E ()
	g 委託中間処理により減量した量 (t/年)	0.0	0.0	0.0	0.2
	h 委託中間処理した後再生利用した量 (t/年)	0.0	0.0	0.0	0.0
	再生利用用途	A・B・C・D E ()	A・B・C・D E ()	A・B・C・D E ()	A・B・C・D E ()
	i 委託中間処理した後埋立処分又は海洋投入処分した量 (t/年)	0.0	0.0	0.0	0.0
	埋立処分先	A 県内・B 県外	A 県内・B 県外	A 県内・B 県外	A 県内・B 県外
	j 再生利用量 (t/年) (j=②+⑧+h)				0.0
	k 中間処理による減量 (t/年) (k=⑦+g)				0.2
	l 最終処分量 (t/年) (l=③+⑨+e+i)				0.0

(注) 1 産業廃棄物発生・処理フロー図を参考に記載してください。

2 再生利用用途コード A: 原料・材料 B: 燃料 C: 飼料・肥料 D: 建設材料 E: その他 (具体的に記載)

3 処理方法コード A: 焼却・溶融 B: 脱水・乾燥 C: 破碎・圧縮 D: 中和 E: その他 (具体的に記載)

4 記入欄が不足する場合は、シートをコピーしてお使いください。なお、この場合、右上No. 欄にページを記載してください。

5 ①~④、⑥~⑩は様式第二号の九又は様式第二号の一四の第2面と同じ項目です。

特別管理産業廃棄物処理状況調査票

(No. 1/2)

1 事業場の概要

項目	内容	項目	内容	備考
事業場の名称	トヨタ車体株式会社 吉原工場	従業員数(人)	2,665人	前年度の3月31日現在の従業員数(パート等の臨時職員及び役員等を含む)を記入して下さい。
記入者名	プラント環境生技部 環境推進室 室長 山田和宏	当該事業所の元請完成工事高(万円/年)		建設業の場合記入。 愛知県内(政令市を除く。)で行われた工事の年間の元請完成工事高(出来高工事を含む)を記入して下さい。
連絡先	(電 話) 0566-36-8847 (FAX) 0566-36-6190 (E-mail)	当該事業所の製造品出荷額(万円/年)	23,440億円 (全社売上高)	製造業の場合記入。 前年度の4月1日から3月31日までの1年間の額を記入して下さい。

2 実施状況

項目	産業廃棄物の種類 (名称)	引火性廃油	感染性廃棄物	pH2.0以下の廃酸	引火性廃油	引火性廃油
		水性塗料廃液	診療所廃棄物	腐食性硝酸	廃ソナー	廃塗料
前 年 度 計 画 の 実 施 状 況 (28 年 度 実 績)	a 不要物等発生量(t/年)	476.8	0.3	0.0	0.0	0.0
	b 有償物量(t/年)	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	① 排出量(t/年) (①=a-b)	476.8	0.3		0.0	0.0
	② 自ら直接再生利用した量(t/年)	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	再生利用用途	A・B・C・D E ()	A・B・C・D E ()	A・B・C・D E ()	A・B・C・D E ()	A・B・C・D E ()
	③ 自ら直接埋立処分又は海洋投入処分した量(t/年)	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	埋立処分先	A 県内・B 県外	A 県内・B 県外	A 県内・B 県外	A 県内・B 県外	A 県内・B 県外
	④ 自ら中間処理した量(t/年)	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	処理方法	A・B・C・D E ()	A・B・C・D E ()	A・B・C・D E ()	A・B・C・D E ()	A・B・C・D E ()
	⑦ 自ら中間処理により減量した量(t/年) (⑦=④-⑥)	0.0	0.0		0.0	0.0
	⑥ 自ら中間処理した後の残存量(t/年)	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	⑧ 自ら中間処理した後再生利用した量(t/年)	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	再生利用用途	A・B・C・D E ()	A・B・C・D E ()	A・B・C・D E ()	A・B・C・D E ()	A・B・C・D E ()
	⑨ 自ら中間処理した後自ら埋立処分又は海洋投入処分した量(t/年)	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	埋立処分先	A 県内・B 県外	A 県内・B 県外	A 県内・B 県外	A 県内・B 県外	A 県内・B 県外
	c 自ら中間処理した後の処理委託量(t/年) (c=⑥-⑧-⑨)	0.0	0.0		0.0	0.0
	d 直接処理委託量(t/年) (d=①-②-③-④)	476.8	0.3		0.0	0.0
	⑩ 直接及び自ら中間処理した後の処理委託量(t/年) (⑩=c+d)	476.8	0.3		0.0	0.0
	e 埋立処分又は海洋投入処分の処理委託量(t/年)	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	埋立処分先	A 県内・B 県外	A 県内・B 県外	A 県内・B 県外	A 県内・B 県外	A 県内・B 県外
	f 委託中間処理量(t/年)	476.8	0.3	0.0	0.0	0.0
	処理方法	A・B・C・D E (蒸留再生)	A・B・C・D E ()	A・B・C・D E ()	A・B・C・D E (蒸留再生)	A・B・C・D E (蒸留再生)
	g 委託中間処理により減量した量(t/年)	0.0	0.2	0.0	0.0	0.0
	h 委託中間処理した後再生利用した量(t/年)	476.8	0.1	0.0	0.0	0.0
	再生利用用途	A・B・C・D E ()	A・B・C・D E ()	A・B・C・D E ()	A・B・C・D E ()	A・B・C・D E ()
	i 委託中間処理した後埋立処分又は海洋投入処分した量(t/年)	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	埋立処分先	A 県内・B 県外	A 県内・B 県外	A 県内・B 県外	A 県内・B 県外	A 県内・B 県外
	j 再生利用量(t/年) (j=②+⑧+h)	476.8	0.1		0.0	0.0
	k 中間処理による減量(t/年) (k=⑦+g)	0.0	0.2		0.0	0.0
	l 最終処分量(t/年) (l=③+⑨+e+i)	0.0	0.0		0.0	0.0

(注) 1 産業廃棄物発生・処理フロー図を参考に記載してください。

2 再生利用用途コード A:原料・材料 B:燃料 C:飼料・肥料 D:建設材料 E:その他(具体的に記載)

3 処理方法コード A:焼却・溶融 B:脱水・乾燥 C:破碎・圧縮 D:中和 E:その他(具体的に記載)

4 記入欄が不足する場合は、シートをコピーしてお使いください。なお、この場合、右上No.欄にページを記載してください。

5 ①~④、⑥~⑩は様式第二号の九又は様式第二号の一四の第2面と同じ項目です。

特別管理産業廃棄物処理状況調査票

(No. 2/2)

1 事業場の概要

項目	内容	項目	内容	備考
事業場の名称	トヨタ車体株式会社 吉原工場	従業員数 (人)	2,558人	前年度の3月31日現在の従業員数 (パート等の臨時職員及び役員等を含む) を記入して下さい。
記入者名	プラント環境生技部 環境推進室 室長 山田和宏	当該事業所の元請完成工事高 (万円/年)		建設業の場合記入。 愛知県内 (政令市を除く。) で行われた工事の年間の元請完成工事高 (出来高工事を含む) を記入して下さい。
連絡先	(電 話) 0566-36-8847 (FAX) 0566-36-6190 (E-mail)	当該事業所の製造品出荷額 (万円/年)	15,662億円 (全社売上高)	製造業の場合記入。 前年度の4月1日から3月31日までの1年間の額を記入して下さい。

2 実施状況

項目	産業廃棄物の種類 (名称)	ph2.0以下の廃酸 硝酸等	ph12.5以上の廃アルカリ 苛性ソーダ等	P C B 廃棄物 トランス、コンデンサ等		
前 年 度 計 画 の 実 施 状 況 (28 年 度 実 績)	a 不要物等発生量 (t/年)	0.0	0.0	0.0		
	b 有償物量 (t/年)	0.0	0.0	0.0		
	① 排出量 (t/年) (①=a-b)					
	② 自ら直接再生利用した量 (t/年)	0.0	0.0	0.0		
	再生利用用途	A・B・C・D E ()	A・B・C・D E ()	A・B・C・D E ()		
	③ 自ら直接埋立処分又は海洋投入処分した量 (t/年)	0.0	0.0	0.0		
	埋立処分先	A 県内・B 県外	A 県内・B 県外	A 県内・B 県外		
	④ 自ら中間処理した量 (t/年)	0.0	0.0	0.0		
	処理方法	A・B・C・D E ()	A・B・C・D E ()	A・B・C・D E ()		
	⑦ 自ら中間処理により減量した量 (t/年) (⑦=④-⑥)					
	⑥ 自ら中間処理した後の残さ量 (t/年)	0.0	0.0	0.0		
	⑧ 自ら中間処理した後再生利用した量 (t/年)	0.0	0.0	0.0		
	再生利用用途	A・B・C・D E ()	A・B・C・D E ()	A・B・C・D E ()		
	⑨ 自ら中間処理した後自ら埋立処分又は海洋投入処分した量 (t/年)	0.0	0.0	0.0		
	埋立処分先	A 県内・B 県外	A 県内・B 県外	A 県内・B 県外		
	c 自ら中間処理した後の処理委託量 (t/年) (c=⑥-⑧-⑨)					
	d 直接処理委託量 (t/年) (d=①-②-③-④)					
	⑩ 直接及び自ら中間処理した後の処理委託量 (t/年) (⑩=c+d)					
	e 埋立処分又は海洋投入処分の処理委託量 (t/年)	0.0	0.0	0.0		
	埋立処分先	A 県内・B 県外	A 県内・B 県外	A 県内・B 県外		
	f 委託中間処理量 (t/年)	0.0		0.5		
	処理方法	A・B・C・D E ()	A・B・C・D E ()	A・B・C・D E ()		
	g 委託中間処理により減量した量 (t/年)	0.0	0.0	0.5		
	h 委託中間処理した後再生利用した量 (t/年)	0.0	0.0	0.1		
	再生利用用途	A・B・C・D E ()	A・B・C・D E ()	A・B・C・D E ()		
	i 委託中間処理した後埋立処分又は海洋投入処分した量 (t/年)	0.0	0.0	0.0		
	埋立処分先	A 県内・B 県外	A 県内・B 県外	A 県内・B 県外		
	j 再生利用量 (t/年) (j=②+⑧+h)					
	k 中間処理による減量 (t/年) (k=⑦+g)					
	l 最終処分量 (t/年) (l=③+⑨+e+i)					

(注) 1 産業廃棄物発生・処理フロー図を参考に記載してください。

2 再生利用用途コード A:原料・材料 B:燃料 C:飼料・肥料 D:建設材料 E:その他(具体的に記載)

3 処理方法コード A:焼却・溶融 B:脱水・乾燥 C:破碎・圧縮 D:中和 E:その他(具体的に記載)

4 記入欄が不足する場合は、シートをコピーしてお使いください。なお、この場合、右上No.欄にページを記載してください。

5 ①～④、⑥～⑩は様式第二号の九又は様式第二号の一四の第2面と同じ項目です。